

アジアの医療水準向上をめざして

《 設立趣意 》

我が国の医療は、多くの若い人材を欧米の大学などに留学させ、世界の医療界から多くのものを学びとりつつ発展し、今日では世界に誇る技術を保持するまでになりました。その成果は日本国民の健康の向上に大きく寄与してきています。

今、アジアの多くの国において、かつての日本が迎ったのと同様、経済成長と生活水準の向上に伴い、医療需要は急増し、医療技術の高度化も求められるようになってきています。その中で、遺伝子的にも、生活習慣的にも近い日本で発展した緻密な医療技術、極め細やかな看護のノウハウに対する期待は大きなものがあります。

しかし、永年、我が国の医療は鎖国状態であり、アジア諸国の期待に十分応えてきたとは言えない状況にあります。近年、ようやく医療分野における人材交流の国際的枠組みが進み始め、2国間の経済連携協定（EPA）に基づいてアジア諸国の看護師を日本の医療機関で受け入れる制度が構築されたり、メディカルツーリズムの掛け声の下、日本の医療機関が海外進出を模索したりするようになってきました。国際貢献的意義の面からだけでなく、政府も民間医療関連企業もアジア諸国を新たな市場と捉え、アジア諸国への海外展開の機運が高まっています。このような流れの中で、今後、政府間ベースだけでなく、民間ベースでの研修受入れや訪問、進出などの交流がますます活発になることと予想されます。

私達は、アジアの医療界の発展のために貢献することで、かつて日本が欧米先進国から学んだことの恩返しをしていきたいと考えています。政府間ベースだけではできない人的交流や研修の支援を進めることで、日本式の医療看護を学んだ多くの医師や看護師、技師が、それぞれの国の健康水準の向上のために活躍することこそが最大の恩返しだと考えています。

多くの方々に、本会の趣意をご理解いただき、ご協力いただけることをお願いいたします。

公益財団法人
日本アジア医療看護育成会

代表理事 川原 弘久



JAMNA



<http://jamna.jp/>

■資料請求・お問い合わせ先

公益財団法人 日本アジア医療看護育成会

名古屋本部

〒454-0933 愛知県名古屋市中川区法華一丁目161番地

TEL : 052-354-1441 FAX : 052-363-7237